



編集・発行 M-Land 益田校
発行責任者 谷口 ひとみ

〒699-5131
島根県益田市安富町 3330-1
TEL 0856-31-5050
FAX 0856-25-1540
HP <http://www.mland-masuda.jp/>
Email info@mland-masuda.jp

皆さまからのご意見ご感想を
お待ちしております

今年は、季節感がごちゃごちゃとして、花の開花に対して感傷に浸る間もなく五月を迎えるような気がしています。桜の木を見上げていたある日のこと、足元から「私も咲いたよ。見てみて!」と囁く声に視線を落とすと、「サクラソウ」がここでも春を告げてくれました。「運命を拓く」という花言葉を持つサクラソウ。強い気持ちを持って現状を乗り越え運命を拓いていきたいものです。

新型コロナウイルス感染対策で例年とは違った入社式

やわらぎ部 研修講習課 課長 大石 康 司

新入社員の皆様、入社おめでとうございます。

島根県内でも日々、新型コロナウイルスの感染者が増加傾向にある中で、今年には七名の新入社員を迎えることができましたこと、まずもって感謝いたします。

例年であれば、グループ企業の新入社員全員が集まり、入社式と新入社員研修を、二日間に亘って行うのですが、今年にはコロナウイルス感染予防を徹底するため、四月十六日、各社において入社式のみ開催となりました。

午前中だけの短い時間ではありましたが、「Mランドらしい入社式を通して、雙(やわらぎ)の心を伝える」を目標に、新入社員の心に残る時間を目指しました。

三密を避けるため、コンベンションホールを目いっぱい使って、間隔を開けた入社式に続いて行われた、小河社長の講話の中では、映像を通じてMランドの歴史を学び、お話の最後には、事前に所属長に書いていただいた「ありがとうカード」を、社長から直接手渡してもらいました。

次に、創業者の想いの詰まった施設の案内を済ませた後、これまた障子戸を全開したお茶室で、唐伯山寮の喜村先生のご指導により、お茶席を体験しました。初体験の人も多く、躊躇(ためら)からMランドの根底に流れる「雙(やわらぎ)の心」の一端を学ぶことができたのではないかと思います。

昼休憩の時間になると、全員で消毒スプレーを持ってコミュニケーションハウスの前に並び、帰ってくる社員一人ひとりに笑顔で挨拶をしながら除菌をしました。

最後は、社長、新入社員、スタッフ全員が一緒に、穏やかな日差しとそよ風が吹く無心山で美味しいお弁当を食べました。

このように短いスケジュールではありましたが、皆さんの笑顔を見ていると、これから一人ひとりが、それぞれの部署で力を発揮してくれると感ずることができました。今後も私たち研修講習課員も、いろいろな形で活躍をサポートしていきたいと心から決意する入社式となりました。

ありがとうございました。

入社式を迎えることが出来たことに感謝の一枚



マスクを着用しての社長の講話。後ろ姿ですが、全員マスク着用です。



お茶をいただくときは、さすがにマスクを外しましたよ。

「やわらぎの塔」の広場で
お弁当をいただきました。



屋外ミニコンサート

目に見えない相手の存在で、満開の桜を心から楽しめない、誠に遺憾な二〇二〇年の春の一夜。Mランドの裏庭の桜の木の下で、ゲストの提案により、ミニライブが催されました。

思い起こせば、何年前になるでしょうか。今のMランド名物のイベントの走りがこの桜の木の下でのライブだったように記憶しています。社員のお母様の手作りの桜餅一〇〇個が、このイベントに参加されたゲストに振る舞わ



たくさんの想いと願いを込めて歌っていただきました。

桜の古木も、喜んでくれたことでしょう。



田口久人の —前向きになれる名言集—

「大人の会話8か条」

- 過去にこだわらず
- 相手の意見に
すぐに反応せず
- まずは息を整え
- 言いたいことをすべて聞く
- 自分の考えだけが
正しいと思わず
- 相手のよいところも探し
- 言わなくてもいいことは
言わず
- ゆっくりと丁寧に話せば
- いつもより受け入れられる

れた年もありました。ゲストで賑わった春の講習月のイベントの締めくくりとして、この桜の老木が多くの旅立ちを見守り、また見送ってきました。

この日十数名の観客は、マスクを着用しソーシャルディスタンスを保ちながら、お二人の爽やかな歌声に耳を澄

ましていました。Mランド社員のMCもマイクもない本当にお二人による手作りライブ。コロナに冒された気持ちと心が、二人の歌声によってしっかりと除菌されたことは、ライブが終わった後の一人ひとりの表情で確信することができました。

最初に、感染症でイベントなどを自粛しないといけない状況の中で、僕たちのために許される最低限のラインでイベントを無事にやり遂げさせていただいたことに感謝します。ありがとうございました。

僕が思っていた免許合宿のイメージは堅く、イベントなどあるわけないと思っていました。そんな中でMランドということでもおもしろそう、明るいイメージのある自動車学校を見つかることができました!! そんな流れでギターの持ち込みを許可していただき、なかなかないチャンスだったので是非何らかの形で、ライブなどのイベントをやらせていただきたいと思っていました。

でも最初はやはり、今は時期が時期なのでイベントをするのは難しい状況でした。それでも逆にこんな状況だからこそ、やり方を考えればできるのではないかとということで開催することができました。イベントが無事に終わって、自分の中に満足感や達成感で気持ちがいっぱいでした! 本当にとっても良い自動車学校に出会えたと思います。

ありがとうございました。これからも、安全運転でガンバリます!!

沖縄県 さんより

社会が混乱しつつある状況で、私たちに素敵なステージを用意するために努力していただいた皆様に感謝申し上げます。

人前で歌うことは、いつまでも慣れないことですが、Mランドの皆様の温かさのおかげで、気持ちを込めて楽しく歌うことができました。この機会が、皆様の思い出のページに刻まれていると嬉しいです。

大阪府 さんより

小河社長のちよと大切な話



代表取締役社長
小河 吉彦

『必然・必要・最善』

働く幸せを感じる。社員やゲストの顔を見る、社員やゲストと会話をする。今、日々の仕事を通じて、社員やゲストから元気をもらい、前を向くことができている。人は、人との関わり合いの中で心が育まれていく。そして、誰かのための自分だからこそ勇気をもって前を向くことができていることを実感しています。

創業者・小河二郎が尊敬した船井幸雄先生は、「必然・必要・最善」という言葉を残されています。すべての出来事は、必然性があって起こる、すべての出来事は必要性があって起こる、すべての出来事は最善のタイミングで起こる。目の前にやってくる問題・課題は、自分自身に何かを教えるためにやってくるという意味であります。それでは、このコロナウイルスは私

鍵山秀三郎先生の「一日一話」

社員の人的成長

会社である以上、売上と利益を伸ばすことは大切です。しかし、それ以上に社員の人的成長は避けて通れない大事なことです。売上や利益はやり方で伸ばすこともできますが、人間の成長には相当な忍耐力を必要とします。たとえ、売上や利益が上がらなくても、社員の人的成長に費やす努力を優先すべきだと思います。

鍵山秀三郎 「一日一話」 — 人間の磨き方・掃除の哲学・人生の心得 — (PHP研究所発行)

「思ひ事」

やわらぎ部
部長 森下 高博

最近、漸く「ことば」というものの意味を実感できる気がしてきました。話したり文章を書いたりすることばの一つひとつが、自分で納得したうえで使えるようになってきた。それは今まで生きてきた人生経験や様々な出来事、出逢ってきた人々の影響が大いにあると思う。

Mランドには、様々な「ことば」がある(存在する)。自分自身その一つひとつの意味を本当に理解し、実感でき、体現できるのか疑問に思う。そこで、今回は「希望」ということばについて考えてみたい。ゲストに「勇気と希望を与えよう」とは言っているが、勇気って何? 希望って何? 自分自身本当に理解して使えているのか。

例えば、ウサギは「愛」がないと(孤独や寂しさで)死んでしまいうらしいが、人間が生きていくには「希望」が必要不可欠であると思う。人間はその思考の範囲を超えた事はできないが、考えた(思った)事はすべて実現可能であり、そこに「希望」という明るく温かく幸せに満ちた光輝く星のような存在があり続けるか否かで、人生が大きく変わるのである。プラスに考える、良い言葉を発する、善い行いをする、これらすべて自分の「希望」に近づくためのルールであり、これらの逆をすればするほど「違うルール」にのってしまい「希望」からは遠ざかっていく気がする。

「希望」の無い人間のなんと無力なことか。何もできない、する気も起きない、考えることもできず、下向きの螺旋階段を日々降りていくようなもの。いくら呼んで上がって来るように促しても、顔は上げるが行動(足を動かさず)のできる「Mランドらしさ」を考えると、きつかけがありました。

職員やゲストが食事をとれる場所には、多くのテーブルと椅子が配置されています。しかし、現在は三つの密を避け、対面や隣同士の着席はできない形になっています。テーブルの中央にパネルを設置し、今までの賑やかな空間とは全く違うものとなりました。

何か寂しい、人と人との繋がりを大切にしたい、このままがいいのかと考えた時、自宅待機となった子供たちが毎日の過ごし方にストレスを感じているという話題が出ました。すると、しぜん社員からテーブルの中央にあるパネルに、楽しい絵を描いてもらって明るい空間にできないかと提案がありました。すぐに「コロナに負

「こぼればなし」

「ソーシャルディスタンス」

この意味は、社会的距離、疾病の感染拡大をふせぐため、人と人との物理的距離を保つこと。今やこの言葉を聞かない日はないかもしれません。新型コロナウイルスによる感染の拡大を受けて、四月七日には一部の都道府県において緊急事態宣言が発出し、四月十六日には緊急事態宣言対象地域も全国に拡大しました。

Mランドでは、二月から様々な取り組みを実施、一人ひとりが感染予防の意識をしっかりと持ち、「うつらない」「うつさない」ための対策を講じてまいりました。その中で、予防ばかりに意識を向けるのではなく、今だからこ

ば)すればするほど下へ下へと降りていく。この穴を「絶望」というのではないだろうか……。

病的な絶望ではなく、ただ人生に迷っている、何か今の自分を変えたい、何とかしたい、だけどどうしたらいいのか、何をしたらいいのか、そんな若者たちにMランドは「希望の星」であり続けたい。

- 「Mランド合宿運転免許」で運転免許を取得(体験)するということは、
- ① その「希望」を見つけれられる
 - ② その「希望」のための方法が分かる
 - ③ その「希望」を応援する環境がある

だから、そんな若者こそMランドで運転免許を取得(体験)する価値がある。今まさに、こんな世の中だからこそ、一人ひとりが「希望」を見失わず、前を向いて笑顔で顔晴ろう。

けるな企画」として社員に周知、楽しいをテーマに描いてくれたお子さんには、図書カード五百円分を贈呈するにとしました。

絵を展示する場所は「ファミフェア」といい、その名前の由来は、「ファミリー(家族)」と「アトモスフィア(雰囲気)」の造語になります。改めて、この場所の由来を考える機会に触れ、いまMランドができること、すべきこと、やれることを考え、そしてまた、この場所でも多くのお客様が集う日まで全力で取り組んでまいります。

(文/営業 斎藤 里香)



おうちで絵を描こう!

作品募集

テーマ 「楽しい」

対象者 社員のお子さん・お孫さん

対象年齢 小学校6年生まで

募集期間 令和2年4月23日 ~ 令和2年5月10日

楽しい絵を描いてくださったお子さんには図書カード500円分をお贈りさせていただきます。

※絵は何枚か描いていただいても構いません。

※図書カードは、お一人1枚となります。

※画用紙は、画用紙に入れて書いていただきます。

※画用紙は、画用紙に入れて書いていただきます。

※提出は絵巻まで、お願いします。

▲カラフルなパネルがポツチ席を楽しくしてくれそうです。

ありがとうカード

…見つけてください、美しい心を…

Mランドの皆様 2020年 3月23日

2週間本当にありがとうございました。とてもいい方達ばかりでホームシックになるところが卒業したくない、もう少しいたい〜という思いが大きいです。Mランドに来て、挨拶の大切さを学びました。すれ違ったら、「おはよう」「こんにちは」と声をかけてくれるのが本当にうれしかったです。Mランド大好きです。

ありがとうございます。

(電話番号) 氏名